

VALUE BOOK

第49期 報告書 2023年3月1日～
2024年2月29日

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC (Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報



私たちは
“みんなと暮らすマチ”
を幸せにします。

LAWSON



グループ理念

グループ
理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。

ビジョン

目指すは、マチの
“ほっと”ステーション。

ローソン
WAY

1. マチ一番の笑顔あふれるお店をつくろう。
2. アイデアを声に出して、行動しよう。
3. チャレンジを、楽しもう。
4. 仲間を想い、ひとつになろう。
5. 誠実でいよう。

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿
「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦
マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

2

連結業績ハイライト (単位：億円)

IFRS

	チェーン全店売上高		営業総利益		事業利益	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期
前 期	12,783	25,668	2,590	5,273	364	643
当 期	13,702	27,509	2,913	5,803	530	940
前年同期比	107.2%	107.2%	112.5%	110.1%	145.8%	146.3%

	親会社の所有者に帰属する当期純利益		1株当たり配当金(円)	
	第2四半期	通 期	中 間	期 末
前 期	204	297	75	75
当 期	324	521	117.50	0
前年同期比	158.3%	175.5%	42.5円増	—

連結損益計算書のポイント (単位：百万円)

IFRS

	前期 (2022年3月1日～2023年2月28日)	当期 (2023年3月1日～2024年2月29日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(2,556,840)	(2,750,984)	7.2%
営 業 収 益	1,000,385	1,087,964	8.8%
売 上 原 価	473,074	507,648	7.3%
営 業 総 利 益	527,310	580,315	10.1%
販売費及び一般管理費	462,998	486,225	5.0%
事 業 利 益	64,311	94,090	46.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	29,708	52,148	75.5%

ポイント 1 国内コンビニエンスストア事業好調による 営業収益の増収

「ハピロー!」などのマーケティング施策及び大変革実行委員会による店舗理想形改装効果などにより、国内コンビニエンスストア事業における既存店売上高が好調に推移し、営業収益は前期比8.8%増の1兆879億64百万円となりました。

ポイント 2 経費増加抑制及び海外事業の業績回復などにより 事業利益の増益

国内コンビニエンスストア事業におけるマーケティング施策の統合による経費増加抑制、主に中国における海外事業での新型コロナウイルス感染症の感染拡大のピークが過ぎ、人流回復と共に日販が回復したこと等により業績が回復し、事業利益は前期比46.3%増の940億90百万円となりました。

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの

資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

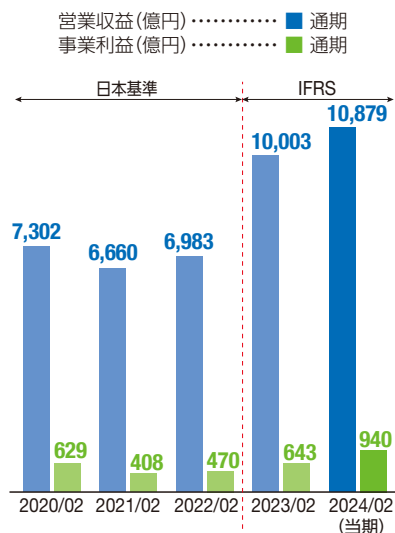
マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

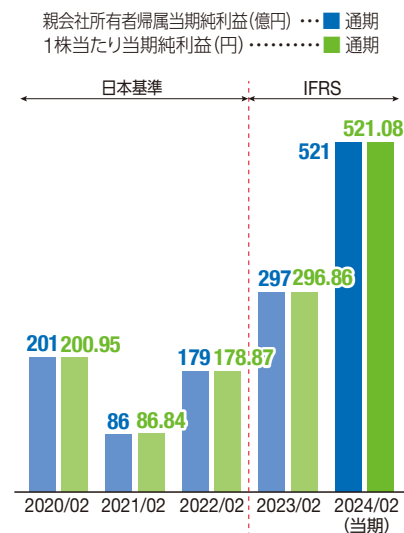
3

財務ハイライト

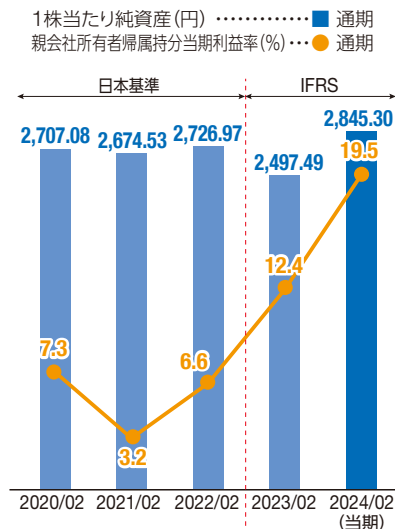
営業収益・事業利益



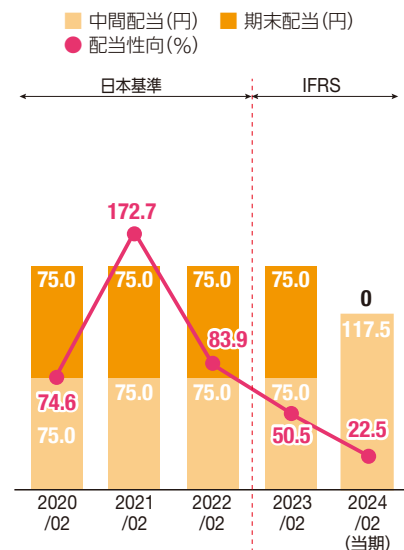
親会社所有者帰属当期純利益・ 1株当たり当期純利益



1株当たり純資産・親会社所有者帰属 持分当期利益率(ROE)



配当金と配当性向の推移



財務・非財務情報

【非財務ハイライト】

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

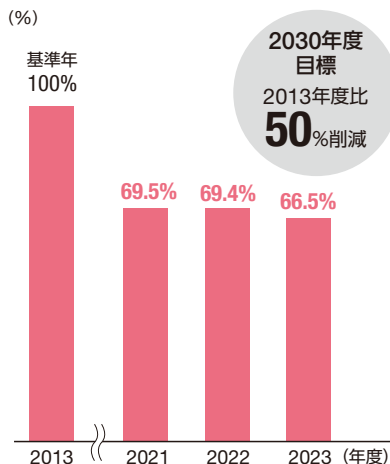
マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

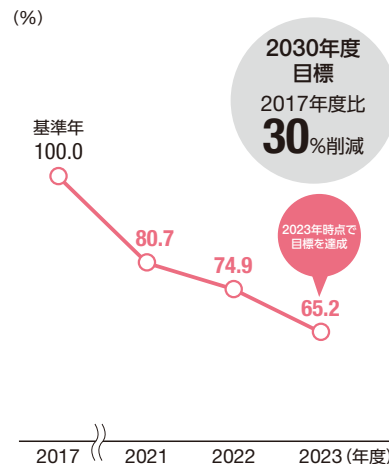
4

非財務ハイライト

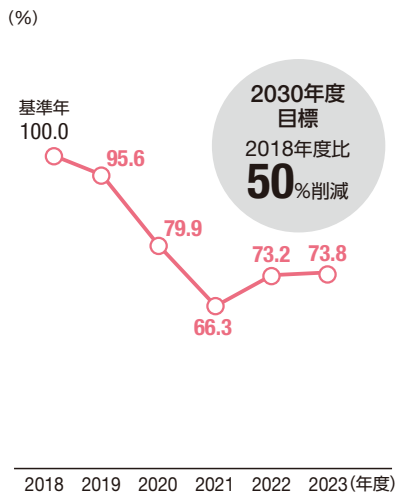
1店舗当たりのCO₂排出量



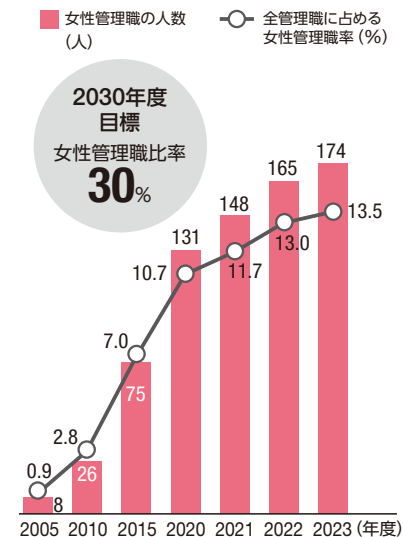
プラスチック製容器包装重量の指数



店舗の食品ロス・食品廃棄物削減状況



女性管理職人数／女性管理職比率



トップメッセージ

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

持続的利益成長と
本業を通じた社会貢献との
両立を目指します。

代表取締役 社長

竹増 貞信



竹増 貞信(たけます さだのぶ)

1969年生まれ。三菱商事株式会社入社、広報部、総務部兼経営企画部長業務秘書などを経て、2014年当社入社、副社長。2016年6月代表取締役社長に就任、現在に至る。

事業利益

940億円

(前期差+297億円、
前期比146.3%)

親会社所有者帰属当期利益

521億円

(前期差+224億円、
前期比175.5%)

当期は、当社創業50周年に当たる2025年に向けて策定した「ローソングループ Challenge 2025」を実現すべく立ち上げた、ローソングループ大変革実行委員会の取り組みの4年目となりました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されるなどアフターコロナへの移行が進む中で、「地域密着×個客・個店主義」の実現に向けてエリアカンパニー制を全国へ拡大し、よりお客さまに近い現場で顧客価値の創造を徹底追求する体制を強化するために権限及び機能を本部から現場に移行し、各種施策を推進しました。

トップメッセージ

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

国内コンビニエンスストア事業

国内コンビニエンスストア事業につきましては、大変革実行委員会で進めてきた店舗改装及び冷凍食品などの日常使いの商品の拡充を基盤に、各エリアカンパニーで品揃えの「幅」と在庫の「量」にこだわった売場の強化を推進しました。2022年から本格的に展開している「無印良品」導入店は12,712店舗※1へ拡大し、フードデリバリーサービスの導入店舗数は4,884店舗※1となりました。「ハッピー・ローソン・プロジェクト! (ハピロー!)」では、引き続きお客さまにお買い物を楽しんでいただくための施策に取り組みました。また、物流の2024年問題やCO₂排出量削減への対応として、2023年12月からチルド・定温商品の配送回数を3回から2回へ順次変更しております。

上記の結果、国内ローソン事業※2の既存店売上高は前期比104.6%となりました。

※1 2024年2月末日現在の店舗数です。

※2 (株)ローソンが運営する「ローソン」「ナチュラルローソン」の合計(チケット・ギフトカード等の影響を除く)です。

トップメッセージ

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC (Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

グループ事業

成城石井事業につきましては、コロナ禍で売上が伸び悩んでいたオフィス店舗の売上が回復し、商品では日配食品や自社のセントラルキッチンで製造している自家製惣菜の売上が堅調に推移したほか、路面店を中心に生鮮品の売上も伸長しました。また、2023年11月には1号店である成城店を新たな旗艦店として全面リニューアルしました。

エンタテインメント関連事業につきましては、チケット事業がコンサートやイベントの開催が増加するなど活況となり、チケット取扱高が前期を上回りました。シネコン事業も話題作品の公開などにより動員客数及び売上が前期を上回りました。

金融関連事業につきましては、ローソン銀行のATM利用件数は人流回復に伴い増加し前期を上回りました。引き続き、ネットワークやATMの基盤を活用した新しいサービスの拡充、提携する事業者や金融機関の拡大に取り組んでおります。

海外事業につきましては、中国において、2022年末から2023年1月初旬にかけての新型コロナウイルス感染症拡大のピークが過ぎ、回復の度合いに地域差はあるものの人流回復とともに日販が伸長しました。

トップメッセージ

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

2024年度の取り組み

2024年度は、「Real × Tech Convenience」を掲げ、リアル店舗の利便性向上に加え、テクノロジー（Tech）活用による「新しい便利」の実現に取り組みます。さらに「地域密着×個客・個店主義」をより進化させ、お客さま満足度の向上を目指します。具体的には、5月から本格導入となった次世代発注システム（AI.CO）で、お客さまの需要に見合う品揃えと在庫量を実現したお店づくりに取り組みます。そのお店を基盤に、世界最速クイックEコマースを目指すデリバリーでは、商品在庫がリアルタイムで分かる仕組みの構築と取扱商品の拡大により、スピードと利便性の向上に取り組みます。

中期経営ビジョン「ローソングループ Challenge 2025」のチャレンジ指標である「ROE15%以上、EPS500円以上」を、目標年度としていた2025年度から2年前倒しで達成しました。引き続き、お客さまに選ばれるお店づくりを進め「レコメンドNo.1」の達成を目指します。

さらに、2025年の創業50周年に向け、グループビジョン「マチの“ほっと”ステーション」の実現に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

特集

三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

9

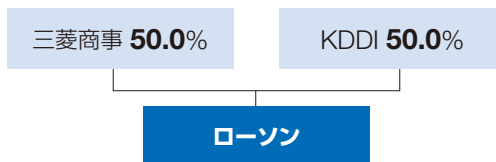
特集

三菱商事・KDDI・ローソン、 資本業務提携契約を締結

三菱商事株式会社、KDDI株式会社、株式会社ローソンの3社は、2024年2月6日、「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた新たな生活者価値創出に向けた資本業務提携契約を締結しました。

また、三菱商事とKDDIは、公開買付け等によるローソンの非公開化に関する取引に合意し、KDDIはローソンに対する公開買付けを実施し、本取引の完了後、三菱商事とKDDIは、ローソンの議決権を50%ずつ保有し、両社は共同経営パートナーとして、ローソンの企業価値向上に向け3社で取り組んでいくこととなります。

■株主構成(予定)



特集

三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

10

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

コンビニエンスストアを中心としたローソンが展開する事業において、三菱商事とKDDIは「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた新たな生活者価値を創出する「マチの“ほっと”ステーション」の実現を目指します。

本提携を通じ、ローソンが有する約14,600店舗に訪れる1日当たり約1,000万人のリアルでのお客さまや、KDDIが有する約3,100万人のお客さまとのデジタルの接点を掛け合わせた「国内有数の生活者接点」に対して、各社が有する機能・サービスをつなぐことで、ローソン店舗において生活者の方々のあらゆるシーンに寄り添う新たな価値を創出し、またグリーン（環境負荷低減）を含む社会が直面する様々な課題の解決に向けた持続可能なサービスも提供します。

リアル

リアル領域における取り組み

ローソンとKDDI合計約16,800拠点（ローソン店舗数：約14,600、au Style/auショップ店舗数：約2,200）のリアル店舗ネットワークを構築し、ローソンの店舗網拡大や機能強化を行い、お客さまのさらなる利便性向上を目指します。

検討事例

au Style/auショップにおけるローソン商品/サービスの取り扱い（プライベートブランド商品、Loppi、ローソン銀行ATMなど）

ローソン店舗におけるKDDI商品/サービスの取り扱い（通信関連商材や銀行/保険サービス、ヘルスケアサービス、エンタメサービス、モビリティサービスなど）

ローソン店舗でのリモート接客導入によるお客さまの生活に寄り添うサービスの提供



特集

三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

11

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

デジタル

デジタル領域における取り組み

KDDIとローソンが持つ会員情報（お客さま属性・購買情報など）連携による国内最大級の顧客データ基盤を活用することで、ローソンのお客さま満足度とロイヤリティの向上を目指します。



検討事例

ローソンで日常の買い物などを便利・おトクに利用できるKDDI及びローソンの利用者向けサービスを開発・提供し、ローソン店舗への送客を拡大

KDDIのDX知見や技術の提供によるローソンの店舗オペレーションの最適化

グリーン

グリーン領域における取り組み

3社の事業基盤を最大限活用し、ローソンが掲げる環境ビジョン「Lawson Blue Challenge 2050!」（注）へ貢献し、グリーンでサステナブルな社会の実現を目指します。



検討事例

ローソンへの太陽光パネルの設置及び発電などによるCO₂排出量削減

ローソンで生じる廃食油を原料としたバイオディーゼルの製造など、サーキュラーエコノミー事業の推進

ローソンにおけるプラスチック容器やペットボトル素材のバイオ系素材への置き換えによるプラスチック使用量削減

特集

三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの
資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

12

Q1

ローソンとしての、
今回の提携のメリッ
トはどのようなも
のでしょうか。

小売業界を取り巻く環境は、業態を超えた競争環境の激化やお客さまニーズの多様化が進んでいることに加え、原材料費や人件費、物流費など各種コストの上昇が見込まれる局面にあります。

このような厳しい状況において持続的な成長を実現するために、グループの各事業における付加価値の高い商品・サービスの提供、さらなる規模拡大と効率性向上の追求、それらを実現するためのDX（デジタル変革）の深化が課題となっている中、本件実施が当社の企業価値向上に資すると考えています。

現時点で決定しているものではありませんが、今後、三菱商事及びKDDIとの協議・検討を進めていきます。

Q2

既に決定しているローソン店
舗でのサービス等の変化はあ
りますか。

Q3

ローソン株式は、
いつまで市場取引
ができますか。

上場廃止まで証券取引所において取引が可能です。株式併合の決議後、所定の手続きを経て上場廃止となりますが、現時点での時期は未定のため、決定次第公表します。

株式併合前の旧株式基準で、1株当たり10,360円（公開買付け価格と同じ）となります。

Q4

スクイズアウト時のKDDI
による端数株式に代わる金
銭交付額はいくらですか。

Q5

スクイズアウトの株主の手続きはどう
なりますか。

株式併合の決議後、株主さまにご案内予定です。

TOPICS

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC (Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

QEC (Quickest Electronic Commerce) への挑戦

ローソンでは、これまで「Uber Eats」など各社と提携し、商品配達サービスを展開してきましたが、さらなる便利を目指して、2024年3月から店舗リアル在庫がタイムリーにお客さまのスマホと繋がり、欲しいものが最短15分で手元に届くQEC (Quickest Electronic Commerce) サービスの展開を開始しました。

「注文した商品が品切れだった」「配達まで時間が掛かる」といった課題を解決し、お客さまにとっての新しい便利を提供していきます。



【利便性の改善点】

従来

- 人手を介して在庫チェックを行っておりタイムリーに在庫状況を反映させることが難しかった
- 配達に時間が掛かる



QECでの改善

- 店舗の在庫がご注文のシステムに自動で反映される
- ご注文から配達まで最短15分で手元に届くサービスを展開

【ローソン商品の配達サービス】

2019年8月に日本のコンビニエンスストアで初めて「Uber Eats」の導入を開始し、「Wolt」「menu」「出前館」など提携企業を拡大しています。

からあげクンなどの店内調理のフライドフーズ、牛乳などの生活必需品、酒類の販売が好調で、一部店舗ではOTC医薬品の取り扱いや「ゴーストレストラン」も行っています。

TOPICS

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC (Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル

ローソンは、2023年10月3日(火)から順次、全国のローソンマチカフェ展開店舗(約13,700店:2023年8月末時点、「ローソンストア100除く」)で、コーヒー豆のブレンドと焙煎方法を見直した、スペシャルティコーヒー専門店「猿田彦珈琲」監修のマチカフェ「ブレンドコーヒー」を発売しました。今回のリニューアルについては、「毎日飲みたいコーヒー」を目指し、「酸味」「苦み」「コク」のバランスを最大限に追求しており、ご好評を頂きました。

 https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1474902_2504.html



■リニューアルのポイント

毎日飲みたいと感じていただけるコーヒーを目指し、お客さまからいただいた「ローソンのコーヒーはちょっと濃い、酸味が強い」といった声を参考に配合から焙煎、抽出に至るまですべてを見直しました。

酸味・苦み・コクのバランスを最大限追求した猿田彦珈琲監修の新ブレンドです。

■リニューアル商品

ホットコーヒー
(S・M・L・メガ)

【配合】使用している4種類の豆(ブラジル、コロンビア、グアテマラ、タンザニア)の配合を変えて、「濃さ」と「酸味」のバランスを整えました。

【焙煎】「苦味」を強めずに「酸味」を抑えるために、焙煎時間や温度を変更しました。

【抽出】豆の味をしっかりと引き出しつつ、雑味を出さないように調整しました。

TOPICS

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】

【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿

「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦

マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

15

「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

この度の令和6年能登半島地震で被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

ローソンは、指定公共機関としての要請や各自治体との災害協定等に基づき、以下の支援物資をお送りいたしました。被災地の一日も早い復旧がなされますことを心から祈念いたします。

 https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1478652_2504.html

■石川県への支援物資

おにぎり
パン
カップ麺
ペットボトル水
カイロ
生理用品

■富山県への支援物資

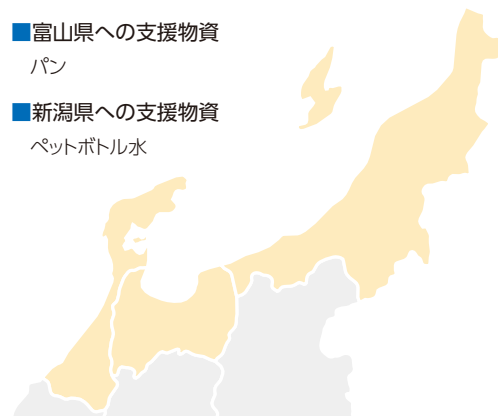
パン

■新潟県への支援物資

ペットボトル水

■被災地の医療従事者への 支援物資

栄養補助食品
紙カップ・紙皿等の日用品



■石川県七尾市内の休業店舗駐車場での 移動販売実施

【場所】ローソン七尾中島町店駐車場

【期間】2024年1月6日(土)～1月10日(水)

【時間】10時30分～14時頃

【販売商品】おにぎり、ベーカリー、即席麺、レトルト食品、水、ボックスティッシュ、トイレットペーパー、生理用品、カイロ、カセットボンベなど数十種類

■本部社員による現地応援隊派遣

店舗の早期営業再開を目的に、約80名の応援隊を1月4日(木)から順次、石川県・富山県へ派遣

■「令和6年能登半島地震 災害支援募金」店頭募金



2024年1月3日(水)から順次、全国のローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100にて、「令和6年能登半島地震災害支援募金」の店頭募金を受付。

【期間】2024年1月3日(水)～2月29日(木)
【寄付先】被災自治体(石川県・新潟県・富山県)

■「ポイント募金」

Pontaポイント及びdポイントによる募金を、1、10、100、1,000、10,000ポイントごとに受付(1ポイント1円換算)

【期間】2024年2月6日(火)～2月29日(木)

TOP

グループ理念

財務・非財務情報

【財務ハイライト】
【非財務ハイライト】

トップメッセージ

特集：三菱商事・KDDIとの 資本業務提携

目指す姿
「リアル×デジタル×グリーン」を融合させた
新たな生活者価値

Q&A

TOPICS

QEC(Quickest Electronic Commerce)
への挑戦
マチカフェ「ブレンドコーヒー」リニューアル
「令和6年能登半島地震」被害に対する支援

株式情報

16

株式情報 (2024年2月29日現在)

株式の状況

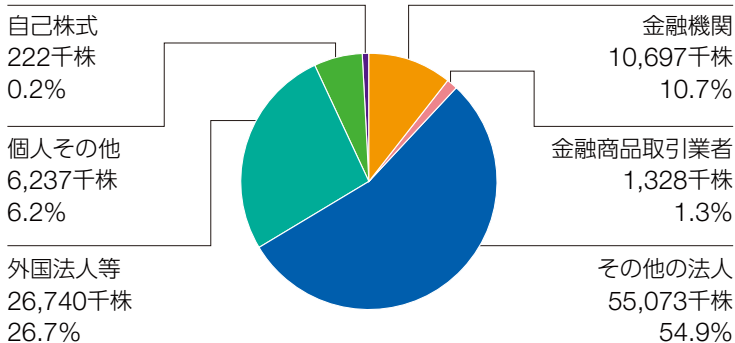
発行可能株式総数	409,300千株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	100,300千株	株主数	23,206名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. 三菱商事株式会社	50,150	50.1
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,515	6.5
3. BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	2,155	2.2
4. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,134	2.1
5. KDDI株式会社	2,110	2.1
6. 株式会社NTTドコモ	2,092	2.1
7. MSIP CLIENT SECURITIES	1,821	1.8
8. BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	1,513	1.5
9. JP LLC-CL JPY	1,007	1.0
10. ローソン社員持株会	926	0.9

※上記の持株比率は、自己株式222,085株を控除して算出しております。

所有者別分布状況



株式情報

TOP

当社ウェブサイトから
さまざまな情報をご覧いただけます。



<https://www.lawson.co.jp/>

最新のIRニュース・統合報告書等は
こちらをご覧ください。



<https://www.lawson.co.jp/company/ir/>

株主名簿管理人の連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きについてのご注意

1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
3. 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

● 公告掲載のURL

<https://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html>

株式会社 ローソン

〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号

TEL 03-6635-3963

<https://www.lawson.co.jp/>

2024年5月発行

© 2024 Lawson, Inc. All rights Reserved.

